

環境経営レポート

(対象期間:2024年4月～2025年3月)

登録・認証番号 0000426
認証・登録日 2005年6月20日

株式会社アルファ
2025年4月21日発行

1. 環境経営方針

当社は、地球環境の保全を事業活動の重要な柱のひとつとして捉え、地球市民として行動に責任を持ち環境関連法規の遵守と以下の環境に対する取り組みを行います。その為に従業員一丸となり自主的・積極的且つ継続的に環境負荷の低減に努めます。

- ①二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量の低減
- ②省エネ、省資源機器の優先採用
- ③環境配慮機器の優先販売に努力する
- ④経営における課題とチャンスを踏まえる
- ⑤環境経営の継続的改善を誓約する

平成15年11月10日制定
平成20年7月5日改訂
平成21年7月6日改訂
令和2年7月6日改訂
株式会社アルファ
代表取締役 上羽 宏明

2. 事業の概要

- (1)事業者名
株式会社アルファ
代表取締役 上羽宏明
対象事業所 本社、技術部門
- (2)所在地
本社 京都府福知山市前田新町155-2
技術部門 京都府福知山市前田新町178
- (3)環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先
責任者 梅原達也
担当者 上羽一誠
連絡先 電話 0773-27-6320
FAX 0773-27-7975
- (4)事業所の規模
従業員数 17人 (正社員:16人 パート:1人)
事業所延べ床面積 530㎡
- (5)事業内容
自動制御機器の販売及び製作
- (6)認証・登録の範囲
全組織、全活動

3. 実施体制

環境経営目標の担当部署及び責任者

総括責任者 代表取締役 上羽宏明

- (1)環境管理責任者の任命
- (2)環境経営方針の制定
- (3)環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備
- (4)環境経営システムの定期的見直しの実施
- (5)社内情報の外部公開可否決定

環境管理責任者 梅原達也

- (1)環境経営システムの確立、実施及び維持する為の処置
- (2)代表取締役に対し、環境経営システムの実績報告
- (3)推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営
- (4)環境経営システムの教育、訓練計画、実施責任者

EA21EMS事務局責任者 上羽一誠

- (1)環境管理責任者を補佐し構成員の全員参画によるEA21の運用と改善を推進する。
- (2)EA21関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進する。

その他の従業員

- (1)それぞれ分担された役割を推進する。

組織図と役割内容

組織図	役割内容
上羽宏明(代表取締役)	全体の見直しと評価の実施
梅原達也(環境管理責任者、EA21事務局責任者)	環境活動全体の指揮監督 文書作成、保管、廃棄物の管理
上羽一誠(EA21推進担当者)	活動内容の周知及び推進
齊藤勘生 原田守 上羽淳史 余田一徳	省エネ、省資源機器の優先販売 アイドリングストップ 自動車省エネ運転の励行
夏目道一 上羽達也 南部琢哉 桐木未帆 河田由依 青木ゆきみ	省エネ、省資源機器の優先採用 廃棄物の分別、適正管理及び処分
石坪幸代 渋谷美幸 西山亜衣 神野優美	空調の温度管理 廃棄物の分別 照明の適正な使用、節水

4. これまでの環境負荷

		2021.4～2022.3	2022.4～2023.3	2023.4～2024.3
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	53,745	51,893	45,160
一般廃棄物排出量	総量(kg/年)	994	936	926
総排水量	総量(m³/年)	数値目標廃止※		

※トイレ・お茶のみの使用であり、極めて少量であるため使用量の把握はしないものとした。

5. 今期(2024年4月～2054年3月)の結果と評価

(1) 目標と結果

		結果	目標	達成率
二酸化炭素排出量 ※1	総量(kg-CO2/年)	47,272	44,709	95%
一般廃棄物排出量 ※2	総量(kg/年)	920	917	100%
総排水量		182		

※購入電力CO2排出係数: ※平成28年関西電力調整後 0.493 kg-CO2/kwh

※総排水量の把握のみ実施

※1 内訳

ガソリン	26267.26
軽油	6504.90
電力	12826.38
LPG	52.83
灯油	1620.99

※2 一般廃棄物とは、削減努力が可能な「その他の紙及びビニール」とする。

目標の数値化はしないが、「販売及び製作に際し省エネ、省資源(長寿命)機器を優先採用する。環境配慮機器の優先販売に努力する。グリーン購入を推進する。」について、取組内容の実施を目標とした。次ページの通りよく実施できた。なお化学物質は使用していない。

(2) 取組内容とその評価

二酸化炭素排出量低減

活動内容	評価
空調設定温度を冷房26℃以上、暖房22℃以下とする	○
無人時の事務所、倉庫、トイレの消灯を徹底する	○
合理的な運行ルートでの走行	○
アイドリング時間の削減	○
エコドライブの推進	○
エアコン、照明を買い替える場合、環境配慮型製品の導入を検討する	○

廃棄物排出量低減

活動内容	評価
コピー用紙の両面使用や余白部を利用する	○
ビニール袋等を出荷用の梱包材として再利用する	○
段ボールを資源ゴミとして再生利用に供する	○

総排水量

活動内容	評価
手洗い時や食器を洗うときなど、こまめに水を止めて使用する	○

省エネ、省資源機器の優先採用

活動内容	評価
LEDの優先採用	○
機能集約型機器の採用による部品点数の削減	○

省エネ、省資源機器の優先販売

活動内容	評価
ユーザーに対し、省エネ、省資源機器を推奨する	○
仕入部品に関しても環境配慮型機器の検討を行う	○

グリーン購入の推進

活動内容	評価
事務用品、名刺等のグリーン購入	○

6. 今後の目標

前年度実績－1% ※但し偶発的な要因により大幅な増減が生じた場合は、別途検討する

CO2排出係数 0.434kg-CO2/kwhで算出 ※2024年度排出量 45,737kg×0.99=45,280

(2025年度よりCO1排出係数変更するため)

		2025.4-2026.3	2024.4-2025.3	2025.4-2026.3
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	45,280	44,827	44,379
一般廃棄物排出量 ※1	総量(kg/年)	911	902	893
総排水量		把握のみ	把握のみ	把握のみ

※1 一般廃棄物とは、その他の紙及びビニール

目標の数値化はしないが、販売及び製作に際し省エネ、省資源(長寿命)機器を優先採用する。
環境配慮機器の優先販売に努力する。グリーン購入を推進する。なお化学物質は使用していない。

7. 次年度の環境経営計画の内容

(1) 二酸化炭素排出量低減

活動内容
空調設定温度を冷房26℃以上、暖房22℃以下とする
無人時の事務所、倉庫、トイレの消灯を徹底する
合理的な運行ルートでの走行

アイドリング時間の削減
エコドライブの推進
エアコン、照明を買い替える場合、環境配慮型製品の導入を検討する

(2) 廃棄物排出量低減

活動内容
コピー用紙の両面使用や余白部の利用
ビニール袋等を出荷用の梱包材として再利用
段ボールを資源ゴミとして再生利用に供する

(3) 総排水量低減

活動内容
手洗い時や食器を洗うときなど、こまめに水を止めて使用する

(4) 省エネ、省資源機器の優先採用

活動内容
LEDの優先採用
機能集約型機器の採用による部品点数の削減

(5) 省エネ、省資源機器の優先販売

活動内容
ユーザーに対し、省エネ、省資源機器を推奨する
仕入部品に関しても環境配慮型機器の検討を行う

(6) グリーン購入の推進

活動内容
事務用品、名刺等のグリーン購入

次年度も上記活動を推進する。またグリーン購入についてはエコマーク製品等の購入を推進する。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

該当する法律	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理	○
消防法	火災の予防・警戒・消火に関する適切な対策	○
京都府地球温暖化対策条例	二酸化炭素の削減に努める	○

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反、訴訟は過去一度もありません。

法規の遵守状況をチェックし問題はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、環境経営システムについて

・環境活動内容について

電力関係：夏季、冬季の空調設定温度を厳守(服装を工夫)

自動車関係：省エネ運転を徹底し、燃料使用量を低減させる。

排水量：これまで通り節水する。

一般廃棄物：商品仕入に伴う梱包材が大半を占めている点から、低減させる事は困難と思われるがコピー用紙を無駄にしない等、出来る事を実践する。

・環境経営方針	変更なし
・環境経営目標、計画	変更なし
・実施体制	変更なし